



ITmedia Inc.

**2009年3月期
第1四半期決算説明会**

2008 年 7 月 31 日

アイティメディア株式会社

証券コード：2148 東証マザーズ

Copyright © 2008 ITmedia Inc.

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成20年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

また、本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承下さい。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。

なお、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。

2009年3月期 第1四半期 業績概要

全社業績

1. 増収減益

- ・売上高 7億69百万円 (対前年同期比 +1.2%)
- ・営業利益 23百万円 (対前年同期比△69.0%)
- ・経常利益 34百万円 (対前年同期比△51.1%)

主な要因

売上面

- ・ 景気循環の悪化により、広告費抑制の影響を受ける
- ・ 一部大手顧客の広告予算抑制
- ・ 広告主数の増加

利益面

- ・ 固定費の上昇
 - － 積極的な人材採用(新卒含む)
 - － 増床等による賃借料アップ
 - － システム関連費用の増加

注:「対前年同期比」は、前連結会計年度(2008年3月期)の第1四半期との比較を表します。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 2. ターゲティング・メディア事業の成長と順調な収益化 | ・売上高成長・・・対前年同期比 41.2%増
・会員数は対前年同期比 1.6倍 の 51,200名へ |
| 3. 人材関連サービス売上の伸長 | ・サービス売上高・・・対前年同期比 18.4%増
・会員数は対前年同期比 23.7%増 の 27,700名へ |
| 4. 広告主数の増加 | ・対前年同期比 18%増 （47社増）の 307社へ |
| 5. 新分野の拡大 | ・音楽情報専門サイト「BARKS(バークス)」の統合
・「Business Media 誠」に、環境チャンネル「ECO 誠(エコまこと)」を開設 |
| 6. 企業市場向け(BtoB)顧客の広告出稿抑制 | ・主にテクノロジー・メディア事業、エンタープライズ・メディア事業の売上に影響 |

注：「対前年同期比」は、前連結会計年度(2008年3月期)の第1四半期との比較を表します。

第1四半期に行った主な施策



- 4/1 「BARKS」を統合し、音楽情報を提供開始
- 4/1 「ITmedia インタープライズ」を一新
- 4/1 営業体制変更(メディア別担当制から顧客別担当制へ)
- 4/15 運営メディアの全記事にブログ引用機能「Kwout(クオート)」を
搭載
- 5/27 環境関連情報を発信する「ECO誠」を開設
- 6/18 ソフトウェアのダウンロード販売サービス「+D Download」を
開始
- 6/30 「@IT MONOist」に電子機器フォーラムを開設



2009年3月期 第1四半期業績（連結）

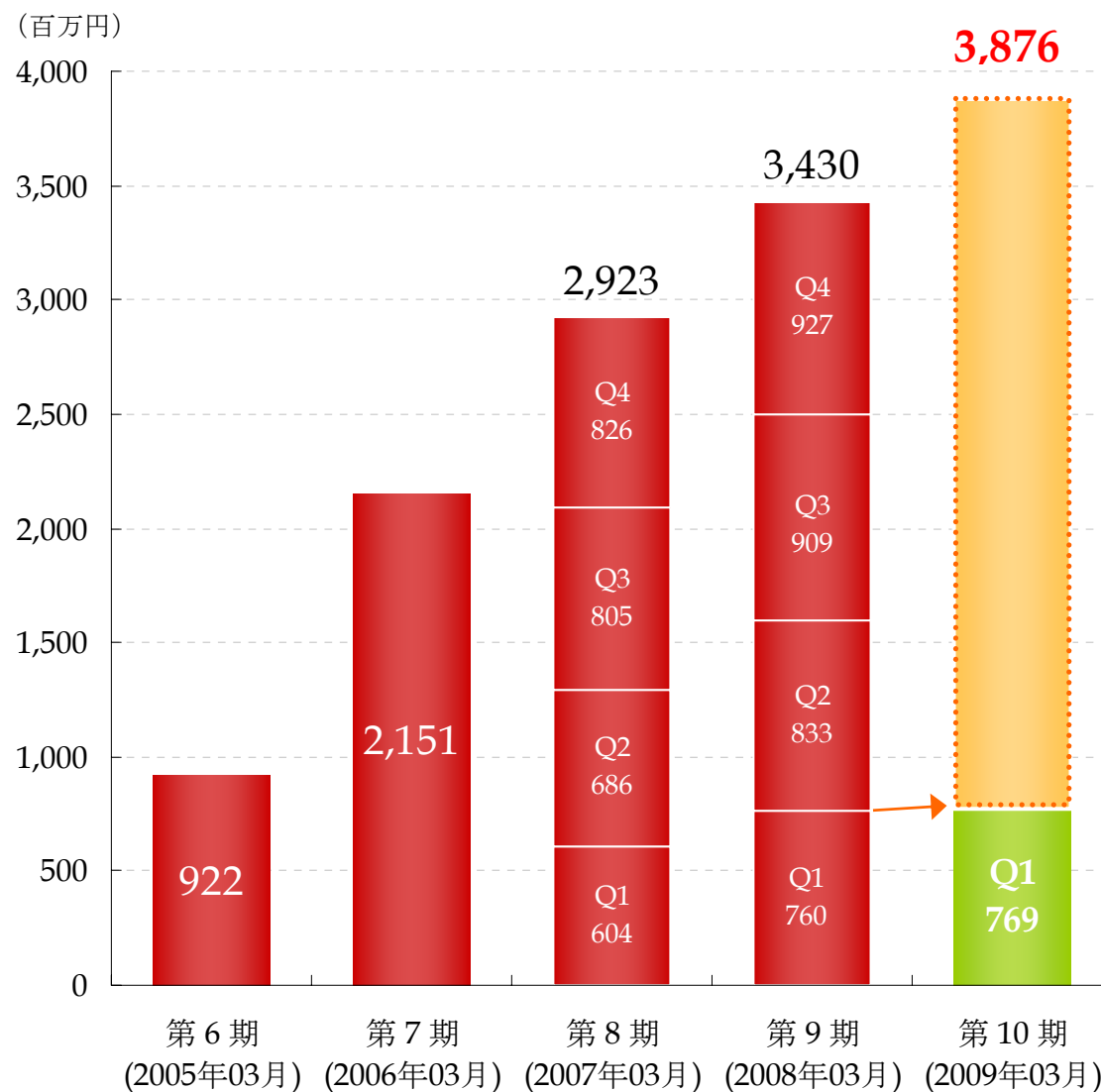


（百万円）

	当第1四半期		前年同期		対前年 同期比 増減率	(ご参考) 前事業年度	
	金額	売上比	金額	売上比		金額	売上比
売上高	769	100.0%	760	100.0%	+1.2%	3,430	100.0%
売上原価	281	36.6%	273	36.0%	+3.0%	1,201	35.0%
売上総利益	487	63.4%	486	64.0%	+0.1%	2,228	65.0%
営業利益	23	3.1%	75	9.9%	-69.0%	575	16.8%
経常利益	34	4.5%	70	9.3%	-51.1%	602	17.6%
四半期(当期)純利益	21	2.7%	41	5.4%	-48.7%	328	9.6%

注：百万円未満を切捨てて表示しております。

売上高の推移

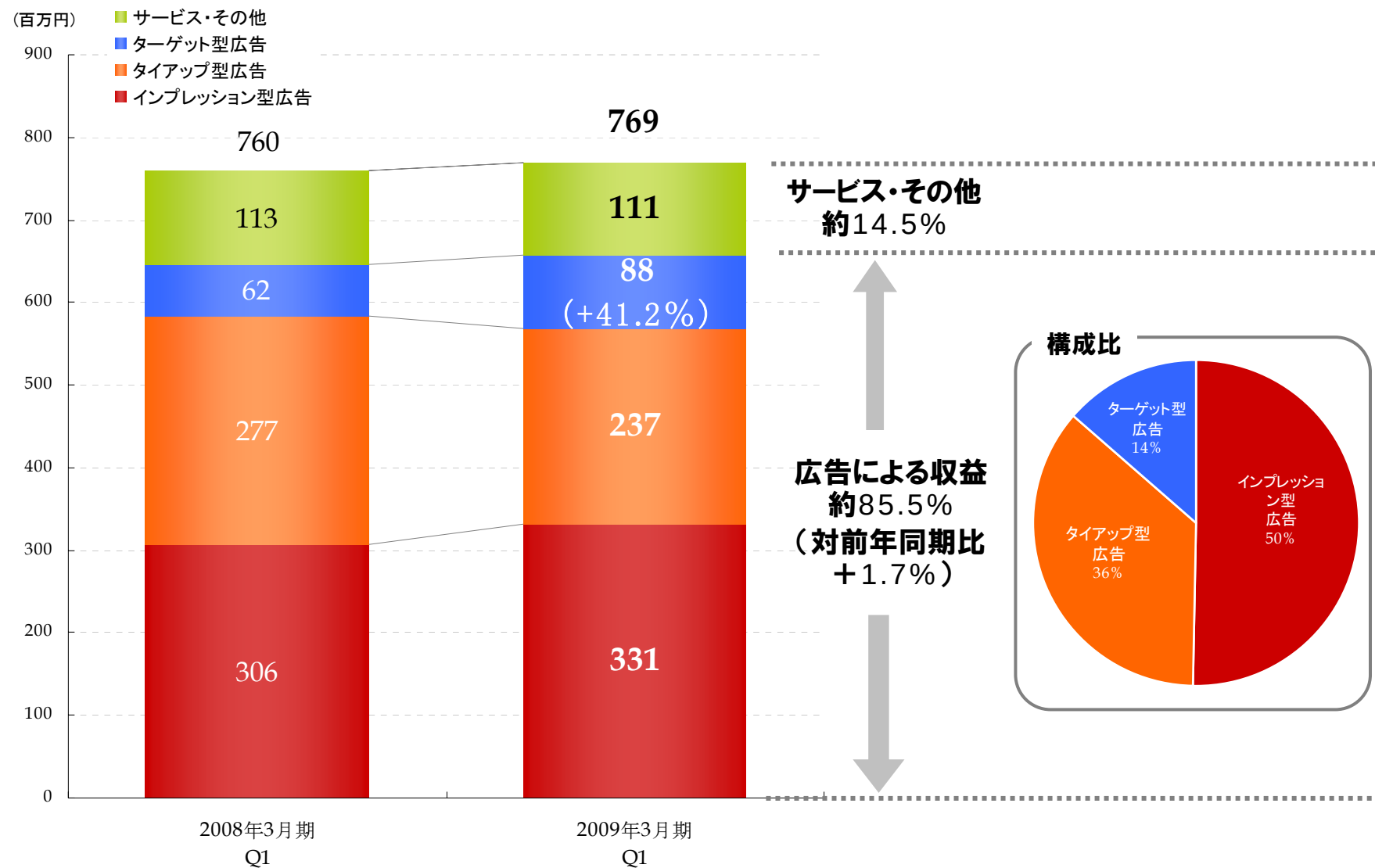


対前年同期比
+ 1.2%

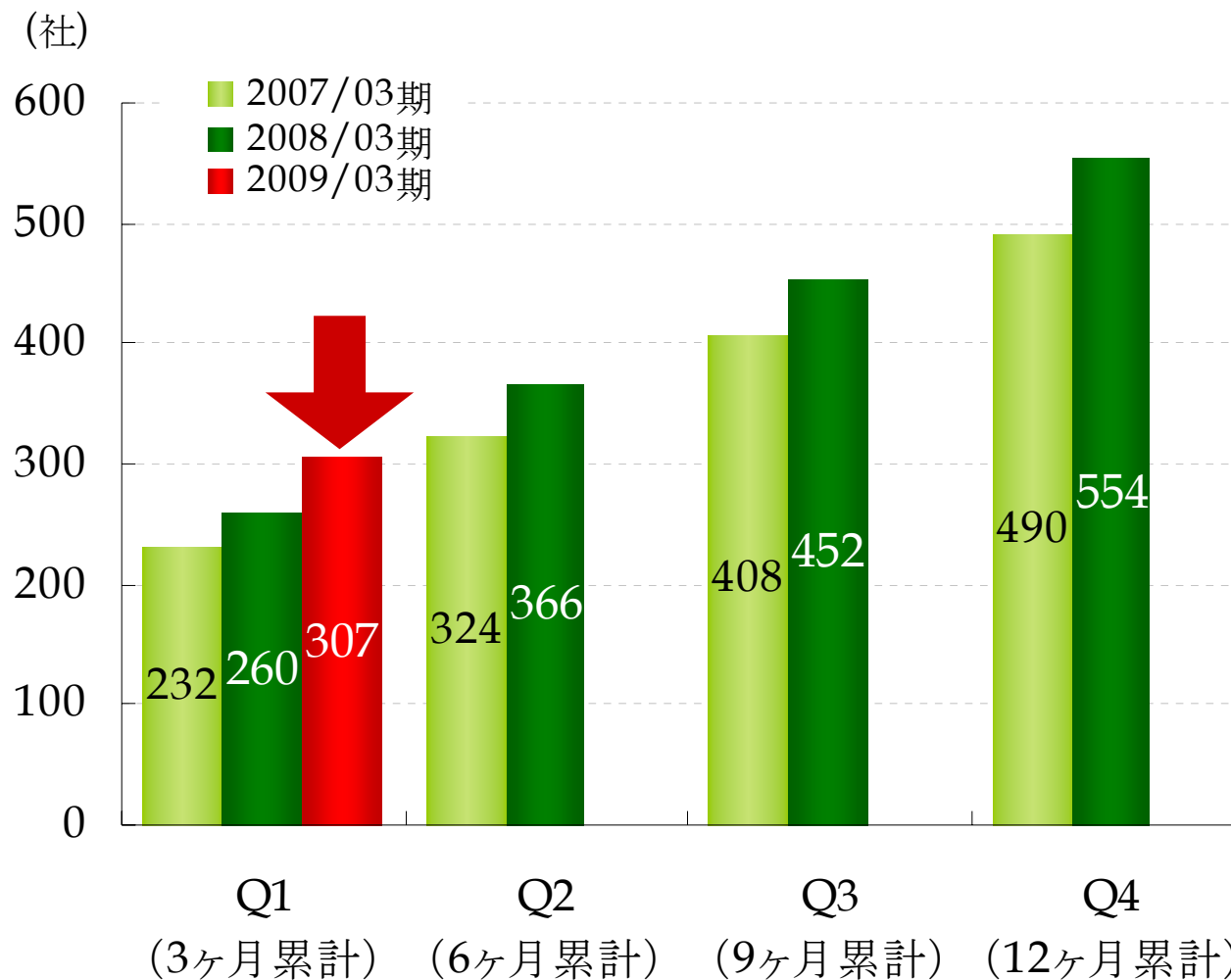
注1: 百万円未満を切捨てて表示しております。

注2: 当社は、第7期より連結財務諸表を作成しており、第6期は単体、第7期から第10期は連結の売上高推移となっています。p 8

収益タイプ別売上構成



対前年同期比 +18% (47社増)

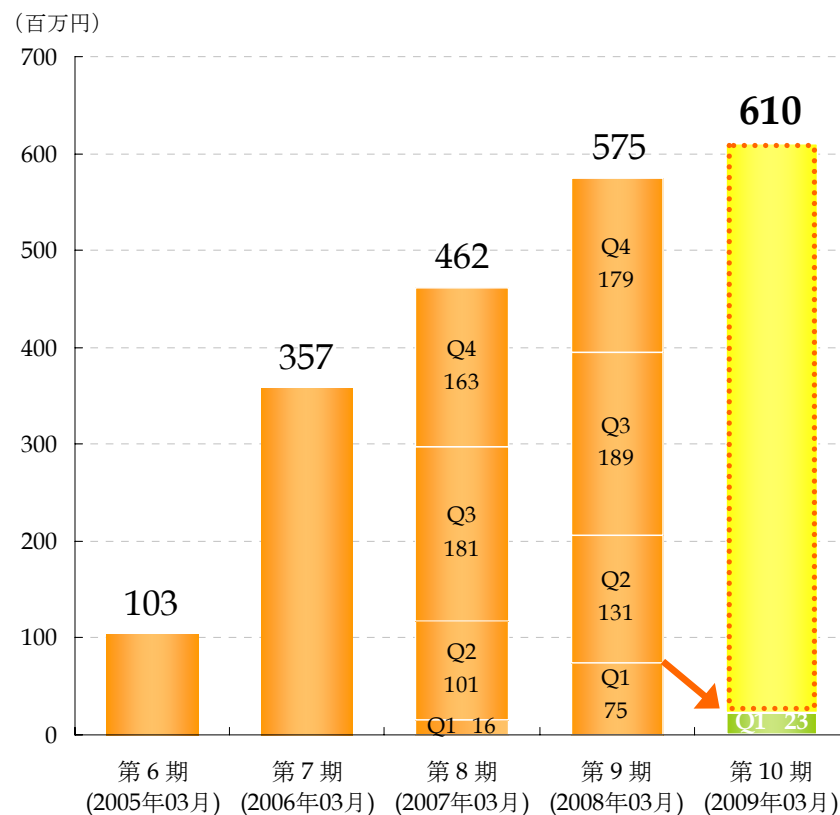


広告主数: 広告を出稿している顧客企業数。広告代理店は含まれておりません。

営業利益・経常利益の推移

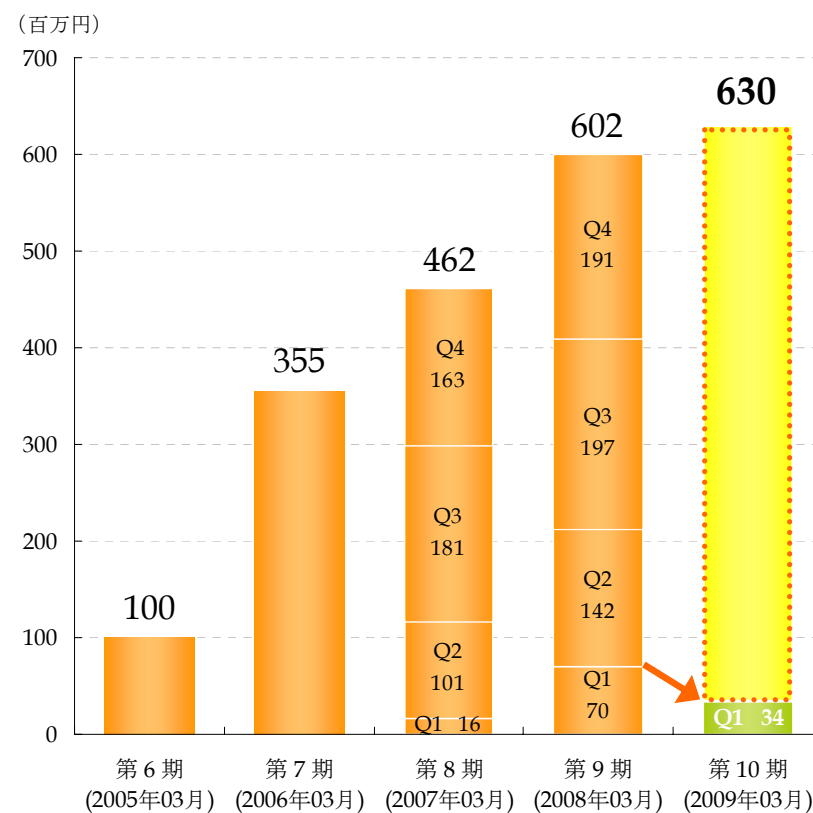
営業利益

対前年同期比 $\Delta 69.0\%$



経常利益

対前年同期比 $\Delta 51.1\%$

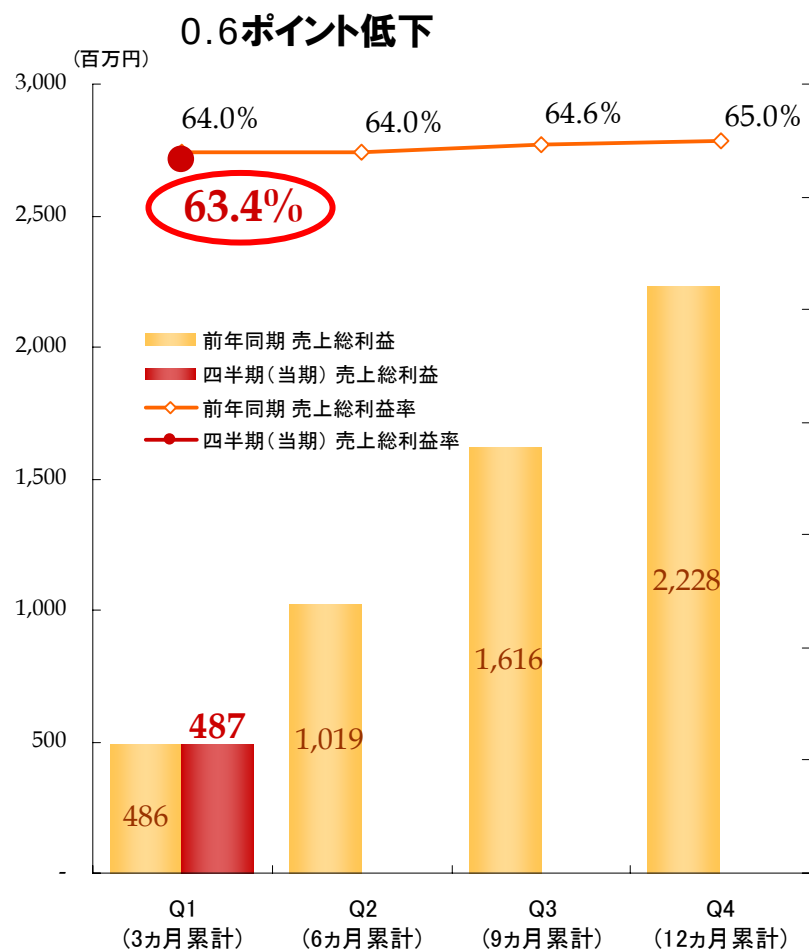


注1: 百万円未満を切捨てて表示しております。

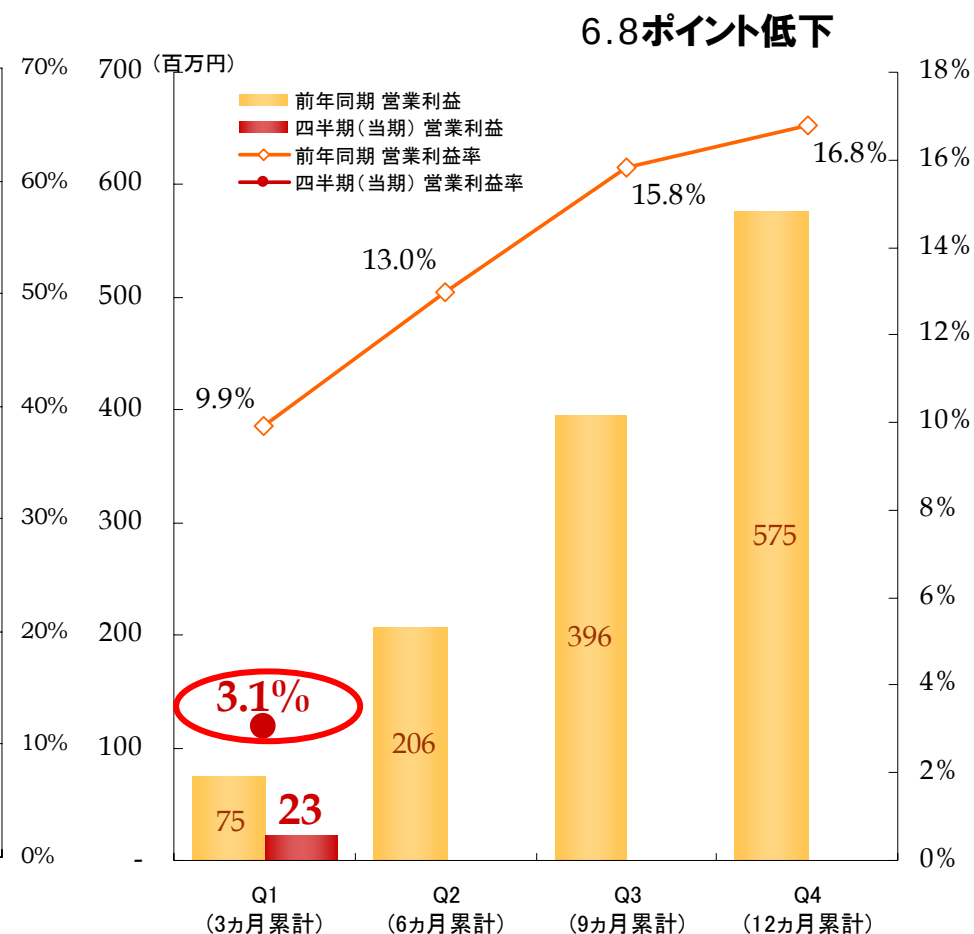
注2: 当社は、第7期より連結財務諸表を作成しており、第6期は単体、第7期から第10期は連結の営業利益及び経常利益の推移となっています。

売上総利益・営業利益の推移

売上総利益率の推移



営業利益率の推移



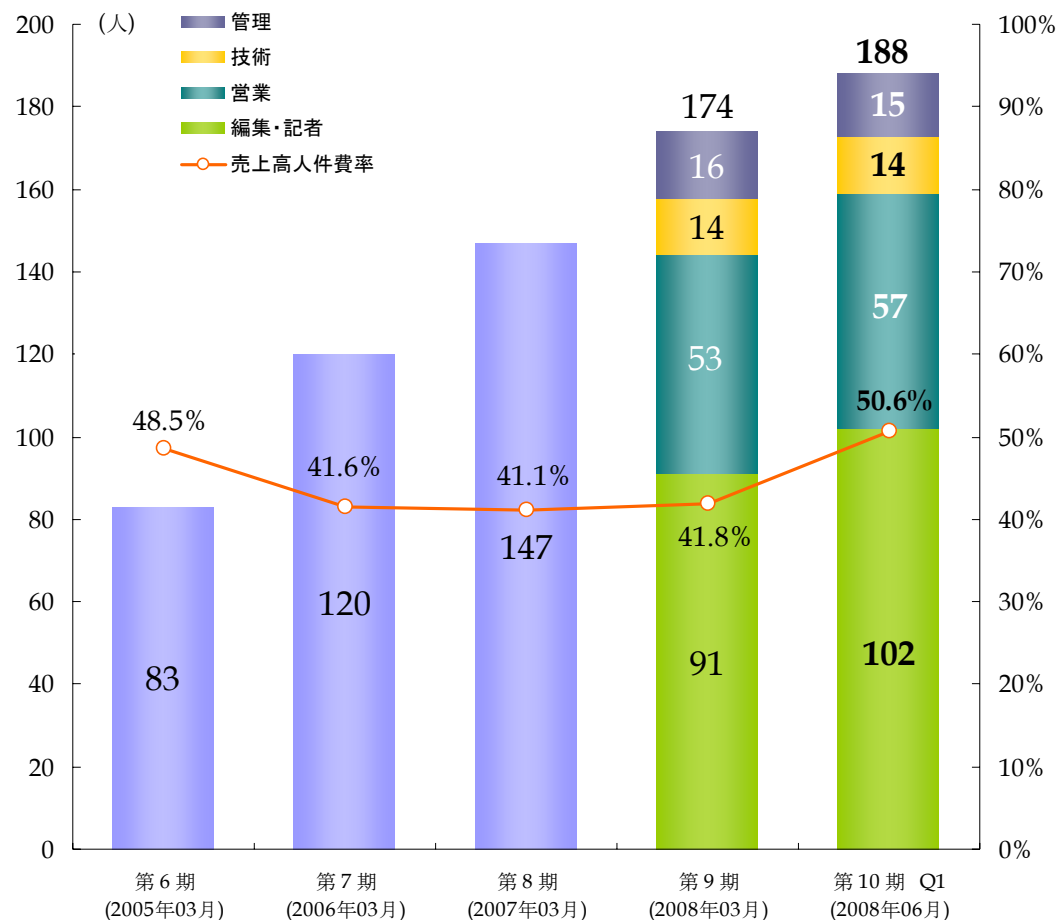
注: 百万円未満を切捨てて表示しております。

売上原価、販管費構成

(千円)						主な増減内容
2008年3月期 Q1 (4-6月)		2009年3月期 Q1 (4-6月)				
金額	売上比	金額	売上比	対前年 同期 増減率		
売上原価合計	273,655	36.0%	281,888	36.6%	3.0%	
外注費	124,117	16.3%	119,055	15.5%	-4.1%	
労務費	132,680	17.5%	153,269	19.9%	15.5%	従業員数の増加
その他	16,857	2.2%	9,563	1.2%	-43.3%	期末仕掛品の増加(売上原価の減少)、業務委託費の減少
販管費合計	411,142	54.1%	463,952	60.3%	12.8%	
人件費	209,494	27.5%	235,675	30.6%	12.5%	従業員数の増加
賃借料	33,443	4.4%	63,320	8.2%	89.3%	事務所増床、賃料単価の上昇
業務委託費	20,299	2.7%	10,470	1.4%	-48.4%	各種業務委託の減少
維持管理費	18,031	2.4%	33,029	4.3%	83.2%	ADサーバー管理費、データセンター管理費の増加
役員報酬	17,580	2.3%	21,649	2.8%	23.1%	役員数の増加(5名増、1名減)
減価償却費	7,381	1.0%	12,486	1.6%	69.2%	サーバーの増加(ADサーバー、BARKS用サーバー、他)
のれん償却	5,113	0.7%	5,113	0.7%	0.0%	
その他	99,799	13.1%	82,207	10.7%	-17.6%	上場関連費用の減少

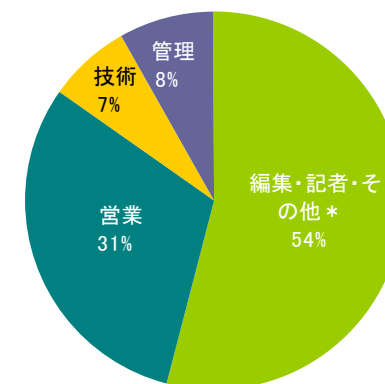
注: 千円未満を切捨てて表示しております。

従業員数の推移



	人数	構成比	対前年増減率
編集・記者・その他*	102	54%	2%
営業	57	31%	0%
技術	14	7%	-1%
管理	15	8%	-1%
合計	188	100%	0%

*デザイン、マーケティング要員を含みます。



注1: 売上高人件費率 = $\frac{【販管費】人件費 + 【原価】労務費}{売上高} \times 100$

注2: 第6期は単体、第7期以降は連結ベースの人員数となります。

要約: キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	(参考) 2008年3月期 第1四半期 (4-6月)	2009年3月期 第1四半期 (4-6月)	当四半期の主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81	△27	法人税等の支払による資金の減少 売掛債権の減少による資金の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,414	47	有価証券の純減による資金の増加 投資有価証券の取得による資金の減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,066	39	ストック・オプションの行使による資金の増加
現金及び現金同等物の増減額	△429	60	
現金及び現金同等物の期首残高	921	1,611	
現金及び現金同等物の期末残高	491	1,671	

注: 百万円未満を切捨てて表示しております。

主に、新株発行による増加

主に、定期預金及び有価証券等の取得

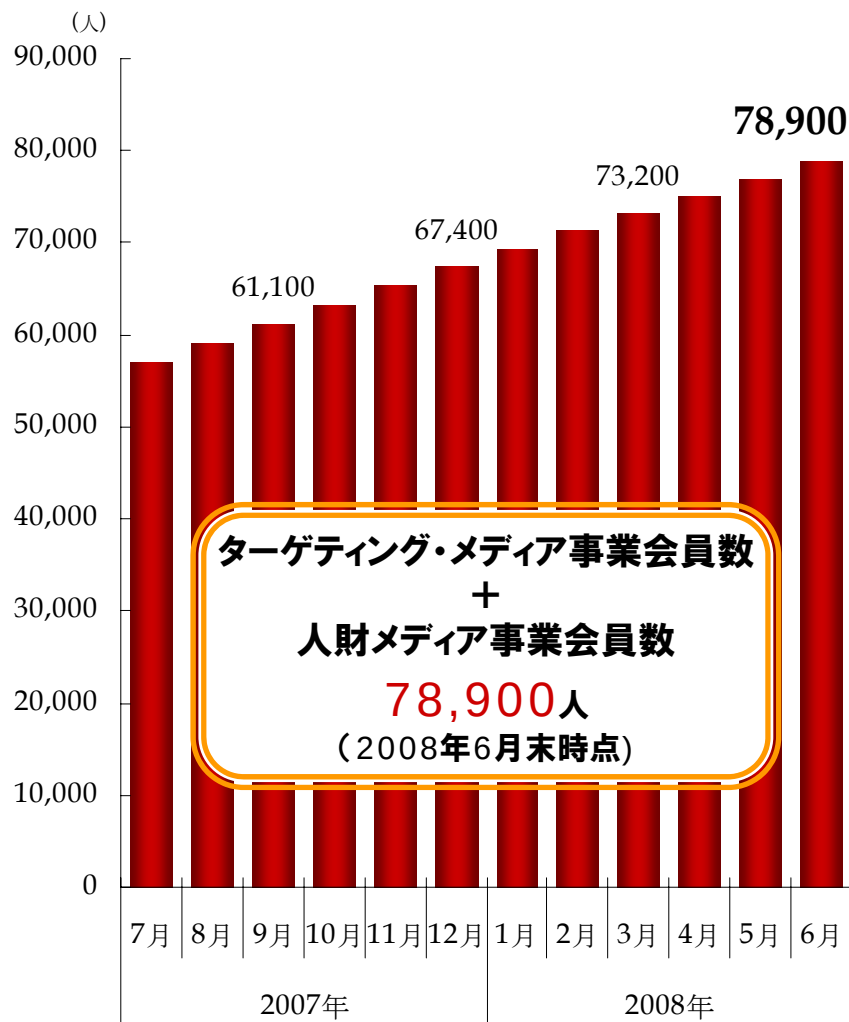
要約:貸借対照表

(百万円)	(参考) 2008年 3月末	Q1 2008年 6月末	増減額	主な増減内容
流動資産	2,981	2,789	△191	
(うち現預金)	1,111	1,221	110	
(うち売掛金)	625	469	△156	売上高の差(前Q4:927、当Q1:769)
(うち有価証券)	1,126	994	△131	運用有価証券の減少
固定資産	1,428	1,443	15	
(うち有形固定資産)	97	113	15	サーバーの購入、減価償却費の計上
(うち無形固定資産)	185	181	△4	ソフトウェア開発、減価償却費・のれん償却額の計上
(うち投資その他の資産)	1,144	1,148	3	繰延税金資産の計上
資産合計	4,409	4,233	△176	
流動負債	472	232	△239	
(うち賞与引当金)	97	37	△60	引当期間の差(前Q4:5ヶ月分、当Q1:2ヶ月分)
(うち未払法人税等)	182	4	△177	法人税等の納付
負債合計	472	232	△239	
資本金	1,600	1,620	19	} スtock・オプションの行使による増加
資本剰余金	1,644	1,664	19	
利益剰余金	688	709	21	
株主資本合計	3,933	3,994	61	四半期純利益による増加
新株予約権	4	6	2	
純資産合計	3,937	4,000	63	
負債・純資産合計	4,409	4,233	△176	

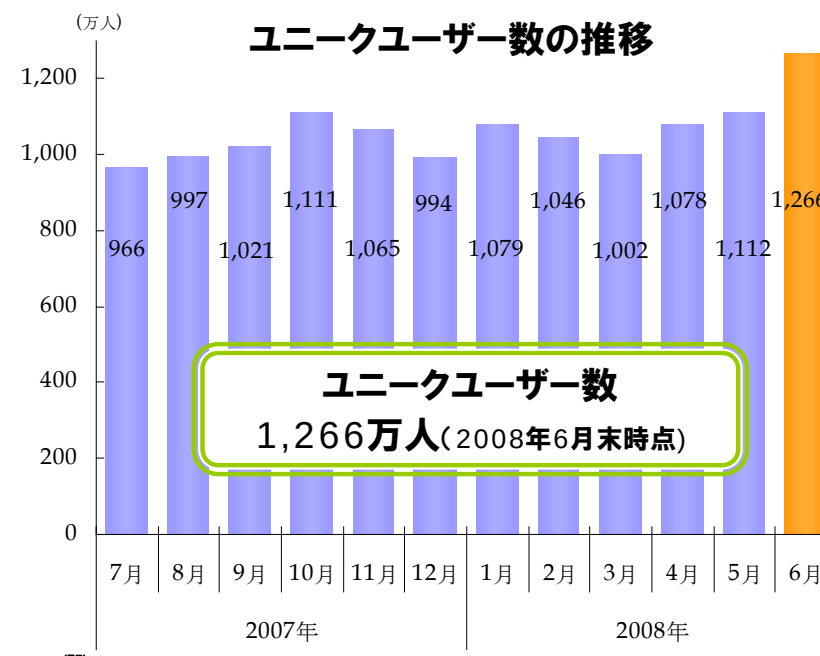
注:百万円未満を切捨てて表示しております。

当社の運営するサイト規模

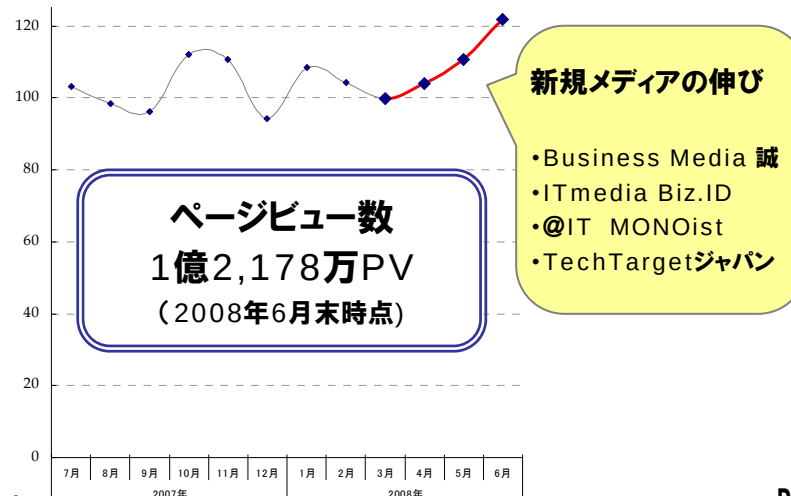
プロフィール型ビジネス会員数の推移



ユニークユーザー数の推移



ページビュー数の推移



事業セグメント別 業績概要と取り組み

当社の事業セグメントについて

メディア広告型ビジネス

収 益

インプレッション型やタイアップ型広告による
広告収入

テクノロジー・ メディア事業

【IT技術者向け】



ライフスタイル・ メディア事業

【先進消費者向け】



エンタープライズ・ メディア事業

【経営・管理者向け】



ビジネス・メディア 事業

【ビジネスパーソン向け】



プロフィール型ビジネス

収 益

会員登録によるユーザープロ
ファイルの取得と、顧客企業
への提供

人財メディア事業

【転職希望の技術者】



ターゲティング・ メディア事業

【IT関連製品の購入
見込客】



メディア力(集客力)
を活かして展開

各事業の
ターゲット層

各事業が運営する
ウェブサイト

事業セグメント別業績



(千円)

2009年3月期 Q1

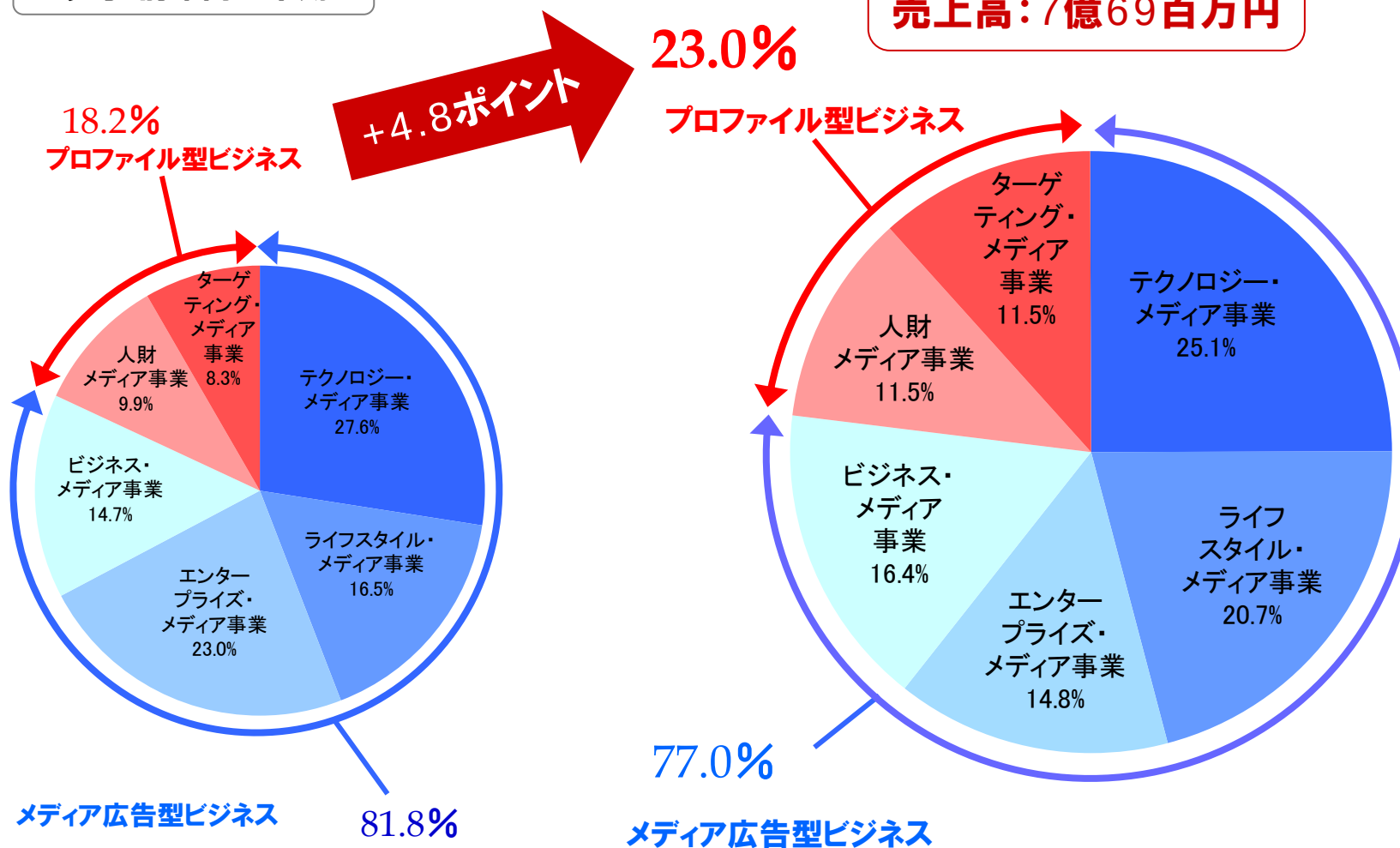
		売上高		営業利益	
		金額	対前年同期比	金額	対前年同期増減額
プロファイル型	ターゲティング・メディア事業	88,852	+41.2%	4,878	+3,430
	人財メディア事業	88,262	+17.3%	24,345	+24,570
	小計	177,114	+28.2%	29,223	+28,001
	参考：前年同期実績	138,183		1,222	
メディア広告型	テクノロジー・メディア事業	193,097	-7.9%	14,020	-54,369
	ライフスタイル・メディア事業	159,129	+26.6%	-11,659	-11,832
	エンタープライズ・メディア事業	114,020	-34.8%	-40,192	-12,874
	ビジネス・メディア事業	125,943	+12.4%	32,072	-1,044
	小計	592,190	-4.8%	-5,758	-80,121
参考：前年同期実績		622,198		74,362	
合計		769,305	+1.2%	23,464	-52,120

注：千円未満を切捨てて表示しております。

事業セグメント別売上構成比

参考: 前年同四半期

当第1四半期
売上高: 7億69百万円



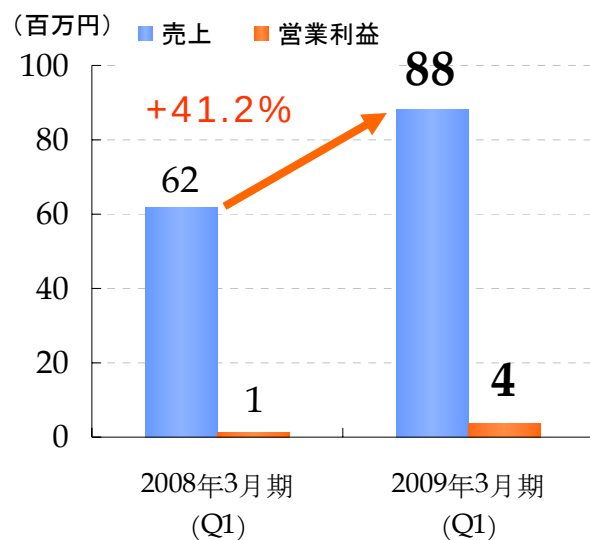
◇ 当第1四半期の事業動向

- 大幅な増収増益
 - 売上 41.2%増、営業利益 3.4倍
- 会員数前年同期比 1.6倍の 51,200名へ
 - 当社運営の他サイトとの連携が好調
- メール商品の順調な売上
 - 会員の嗜好に沿った情報提供
 - 1日に複数メールを出せるシステムへ改良

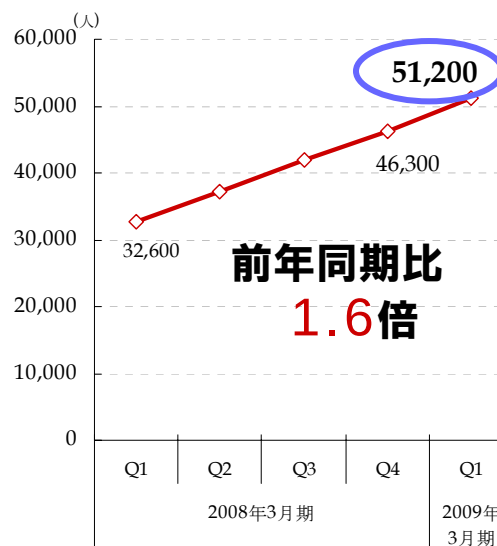
◇ 第2四半期以降の施策

- メール商品のさらなる強化
 - 行動ターゲティング型、会員の趣向にあわせたメール商品
- 顧客向けウェブマーケティング最新トレンドセミナー開催(7/24開催)
 - サービスの認知および理解度の向上支援
- 新規顧客獲得キャンペーンの実施

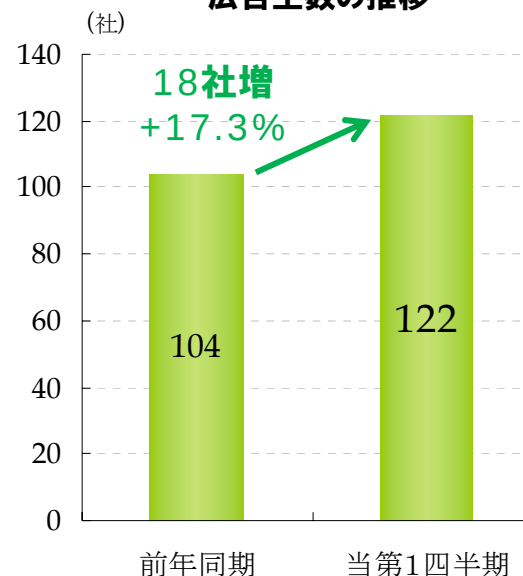
当第1四半期業績



会員数の推移



広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。 p 22

ウェブマーケティングの”今”を知る：最新トレンドセミナー開催



2008/7/24(木) 開催

- 広告主を集めたセミナー開催
 - 112社、202名のご来場
- TechTarget 媒体説明と、提供サービスの効果を説明

「ウェブマーケティングの最新トレンドと
ターゲティングを成功させるノウハウの公開」



今後のセールスに期待



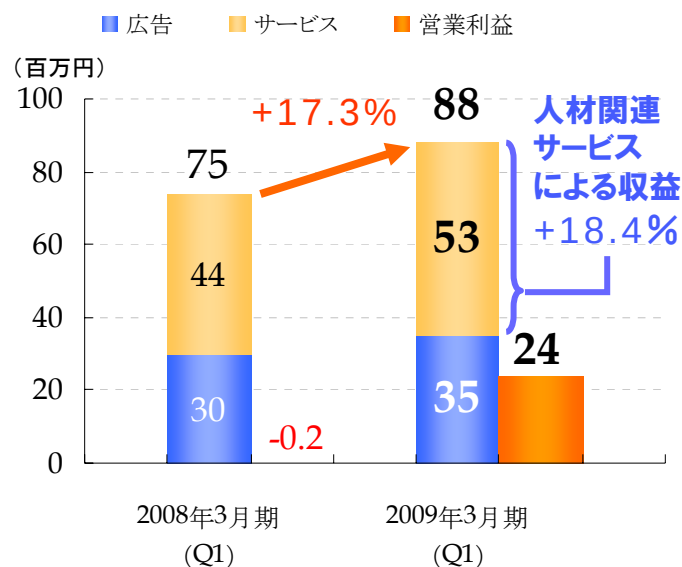
◇ 当第1四半期の事業動向

- 営業利益：大幅な改善
 - 原価、販管費をコントロール
- 増収達成：広告、人材関連サービスともに順調
 - 求人タイアップ広告が好調
 - 成果報酬型サービスが受け入れられる
- キャリアアップ系コンテンツ
「@IT自分戦略研究所」の順調なページビュー増加

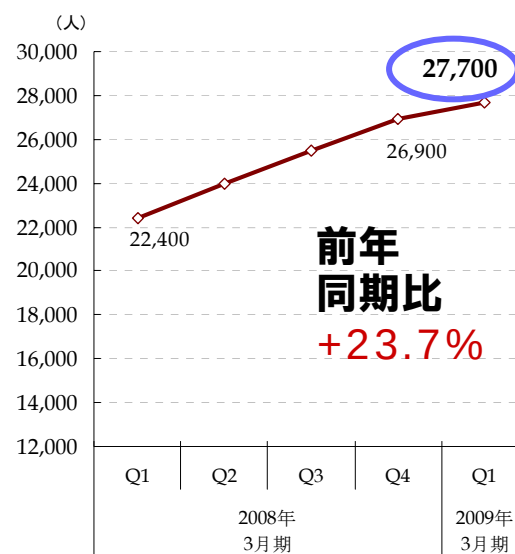
◇ 第2四半期以降の施策

- 読者投稿型サイト
「@IT自分戦略研究所 エンジニアライフ」開設予定
- 適職診断コンテンツの開始
 - 会員数増加につなげる
- イベントを通じた見込み顧客獲得および売上増加
 - 求人企業向けセールスセミナー
 - 読者向けキャリアアップカンファレンス

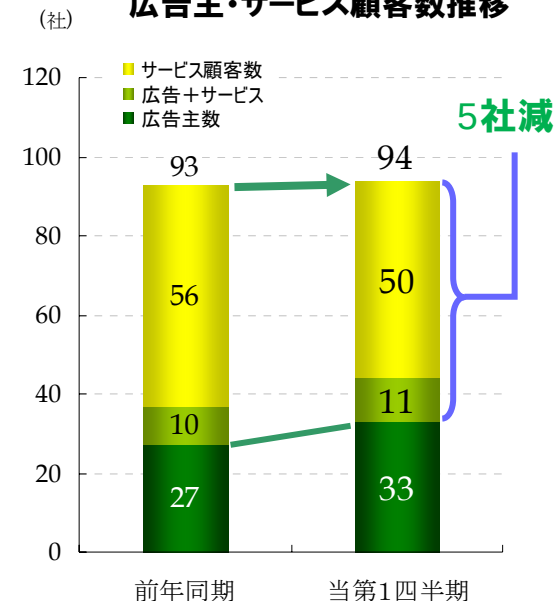
当第1四半期業績



会員数の推移



広告主・サービス顧客数推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数

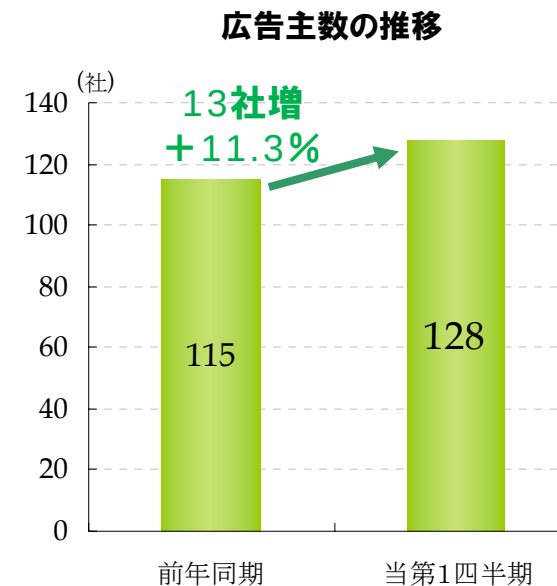
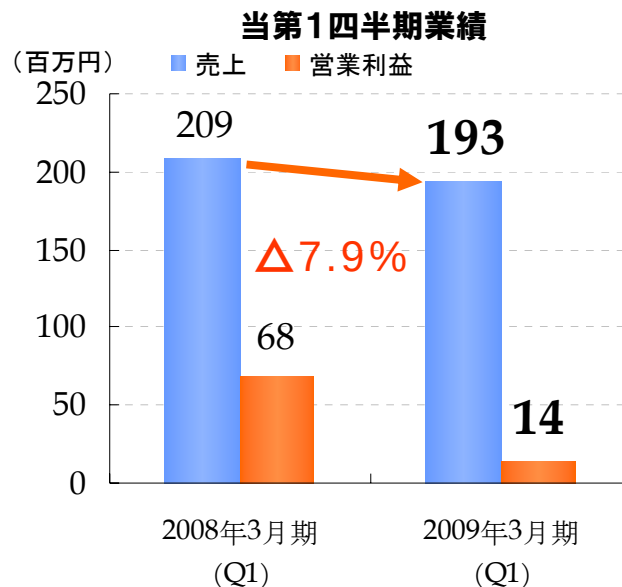
注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております

◇ 当第1四半期の事業動向

- ・ 厳しい市場環境のあおりを受け減収
 - － 一部外資系クライアントの予算減少
 - － 出稿予算執行に出遅れ
- ・ テクノロジー・メディア事業全体のページビュー上昇
- ・ 「@IT MONOist」の立ち上がり
 - － 約80万ページビュー

◇ 第2四半期以降の施策

- ・ 第2四半期は回復基調に
- ・ 連合企画(テーマを設定し、複数の広告主が掲載する企画広告)の積極的展開
 - － 広告主の反応良好
- ・ ページビュー(PV)増加と顧客層の拡大
 - － PV: 新フォーラム「Coding Edge(コーディングエッジ)」等の開設
 - － 顧客: 新フォーラム「Server&Storage(サーバ&ストレージ)」開設/ウェブデザイン系のフォーラム開設



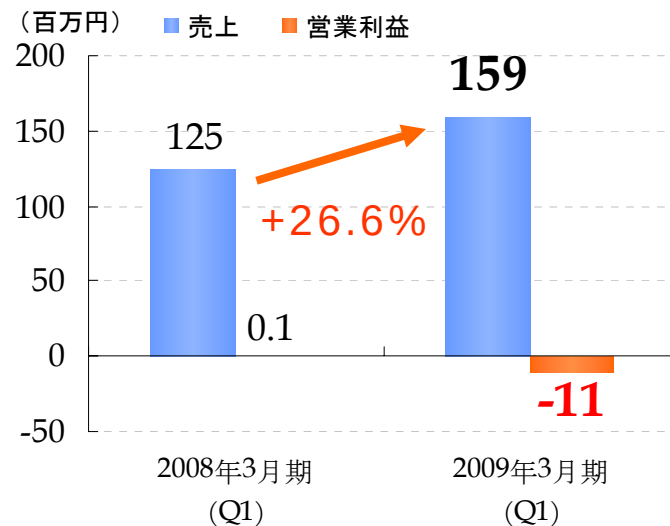
◇ 当第1四半期の事業動向

- 「ITmedia +D」に音楽情報サイト「BARKS」が加わり、26.6%増収へ
- 「BARKS」の立ち上がり時期のため営業減益
 - 「ITmedia +D」は大幅な増収増益
 - 事業統合効果が出るのはQ2以降
- 「BARKS」の統合により若年層、女性ユーザーの取り込みを加速

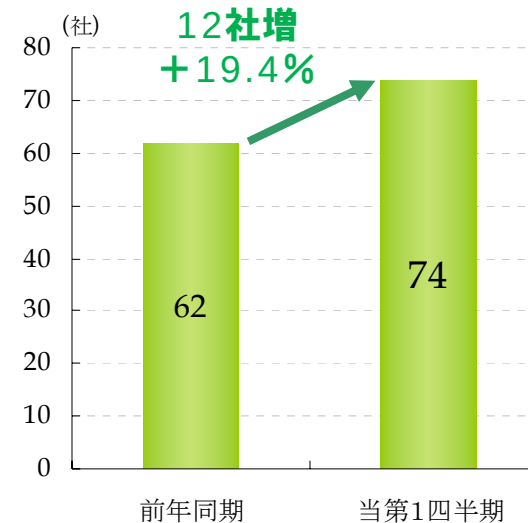
◇ 第2四半期以降の施策

- 7/1 デジタル家電製品の検索、価格比較サービス「ITmedia 製品NAVI」オープン
- 非IT商品を扱うECサイト「ITmedia +D 専門店街」をオープン
- 「BARKS」の広告メニューや広告商品の統合を完了

当第1四半期業績



広告主数の推移



◇ 当第1四半期の事業動向

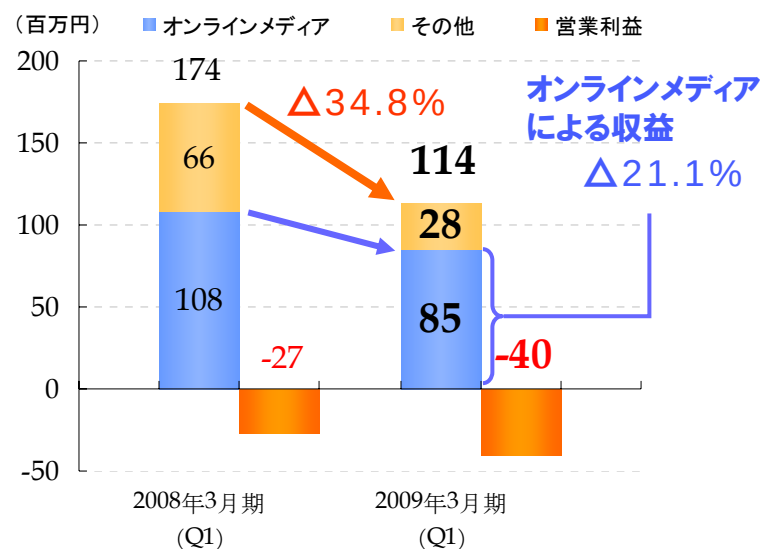
- 紙媒体を廃止、オンラインメディアに注力するも減収、営業損失拡大
- IT外資系企業を中心とした顧客の予算縮小
 - オンラインメディアの伸びに影響
 - 大型のタイアップ型広告の獲得が不調
- 広告主数減少
 - 主に紙媒体の広告主の減少



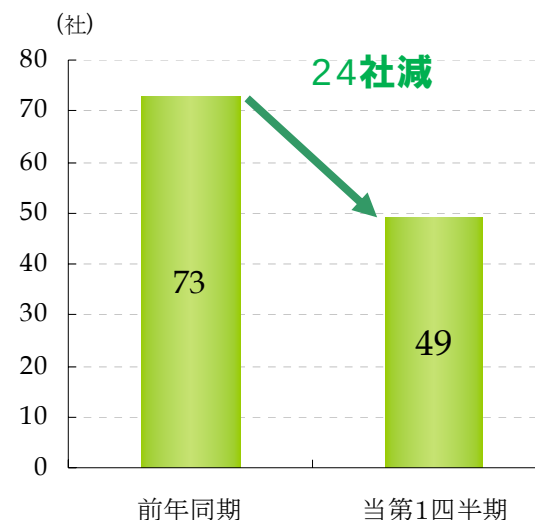
◇ 第2四半期以降の施策

- 赤字幅の縮小
 - 間接費のコントロール
- オンラインメディア売上の成長回復
 - 連合企画の展開（例：ERP）
 - 「オンライン・ムックPlus」企画への出稿募る
- 新チャンネル
 - 「DevIT」「AdminIT」「PlanIT」の立ち上げ
 - エンタープライズメールの強化

当第1四半期業績



広告主数の推移



◇ 当第1四半期の事業動向

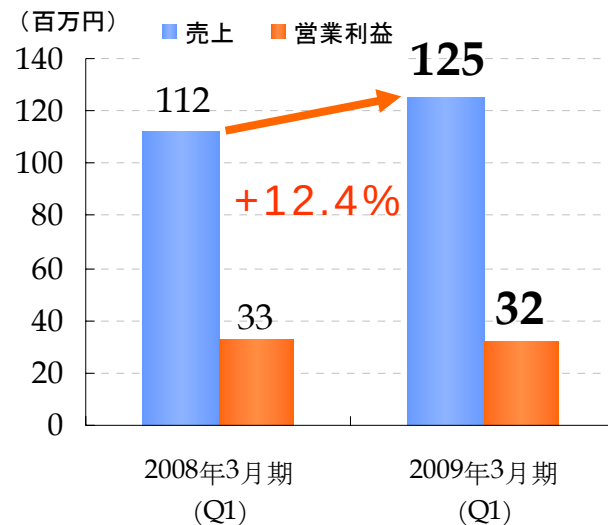
- インプレッション型広告が堅調に推移
- 全社コストの負担増加により、営業減益
 - 売上総利益は増加、事業単体では利益増
 - 黒字を出しながら、新メディア育成中
- ページビュー好調
 - 「ITmedia News」コンテンツの質の変化
ハードウェア系ITの情報から、ソフトウェア・ネット系サービスの情報へ



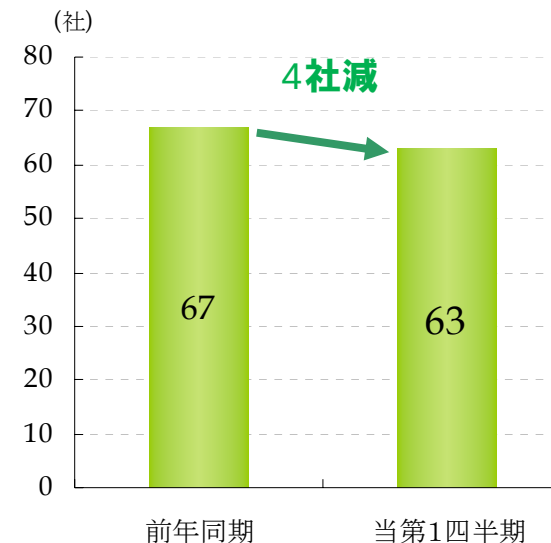
◇ 第2四半期以降の施策

- 「ITmedia News」リニューアル
- 当社が提供するウェブサービス「Bizアプリ」の開始
 - 広告による収入
 - 例：パスワードジェネレータ
→パスワードの希望の長さとお個数を指定する
と、ランダムにパスワードを生成するアプリ
- 「Business Media 誠」のサブチャンネルの展開
 - 例）FX専門チャンネル、不動産専門チャンネル

当第1四半期業績



広告主数の推移



2009年3月期 連結業績予想について

メディア広告型ビジネス

<Q1>

- 景気循環の悪化により、広告出稿額抑制の影響を受ける
- 一方で、広告主数増加



<Q2>

- 第2四半期に盛り返し
 - 新営業体制が機能
 - 連合企画を含むタイアップ型広告の回復
 - 大手顧客のきめ細やかなフォロー



- テクノロジー・メディア事業の収益回復
- エンタープライズ・メディア事業の売上回復

プロフィール型ビジネス

<Q1>

- 明確なターゲティング・ROIにより、顧客の支持を受け、収益拡大



<Q2>

- ターゲティング・メディア事業のさらなる拡大
- 人材関連サービスの堅調な伸び

2009年3月期 連結業績予想について

- ・ 前述の見通しを踏まえ、期初発表の連結業績予想の修正なし

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 連結累計期間	1,772	210	225	130
売上高比率	—	11.9%	12.7%	7.3%
対前年同期増減率	+11.2%	+1.5%	+5.6%	+26.2%
通期	3,876	610	630	365
売上高比率	—	15.7%	16.3%	9.4%
対前年増減率	+13.0%	+6.0%	+4.6%	+11.1%

ご参考資料：アイティメディアとは

ビジネスモデル及び会社概要

1. <アイティメディアとは？>

アイティメディアとは、**自ら取材・執筆する記事を提供するメディア(媒体)**。
インターネット専門メディアとしてのパイオニアです。

2. <事業の成長軸は？>

専門性の高いコンテンツと、営業力に支えられた、主力のネット広告が
順調に成長しています。

今後の成長エンジンとなるターゲティング・メディア事業を開発、拡大中
です。

3. <今後の方向性は？>

ITでの成功を足がかりに、**サービス・コンテンツを隣接分野に拡大**。
旧来型メディアに対し、ネット専門としてチャレンジを続けます。

アイティメディアの運営する主なメディアとサービス



▼テクノロジー・メディア事業



▼ターゲティング・メディア事業



▼人財メディア事業



▼ビジネス・メディア事業



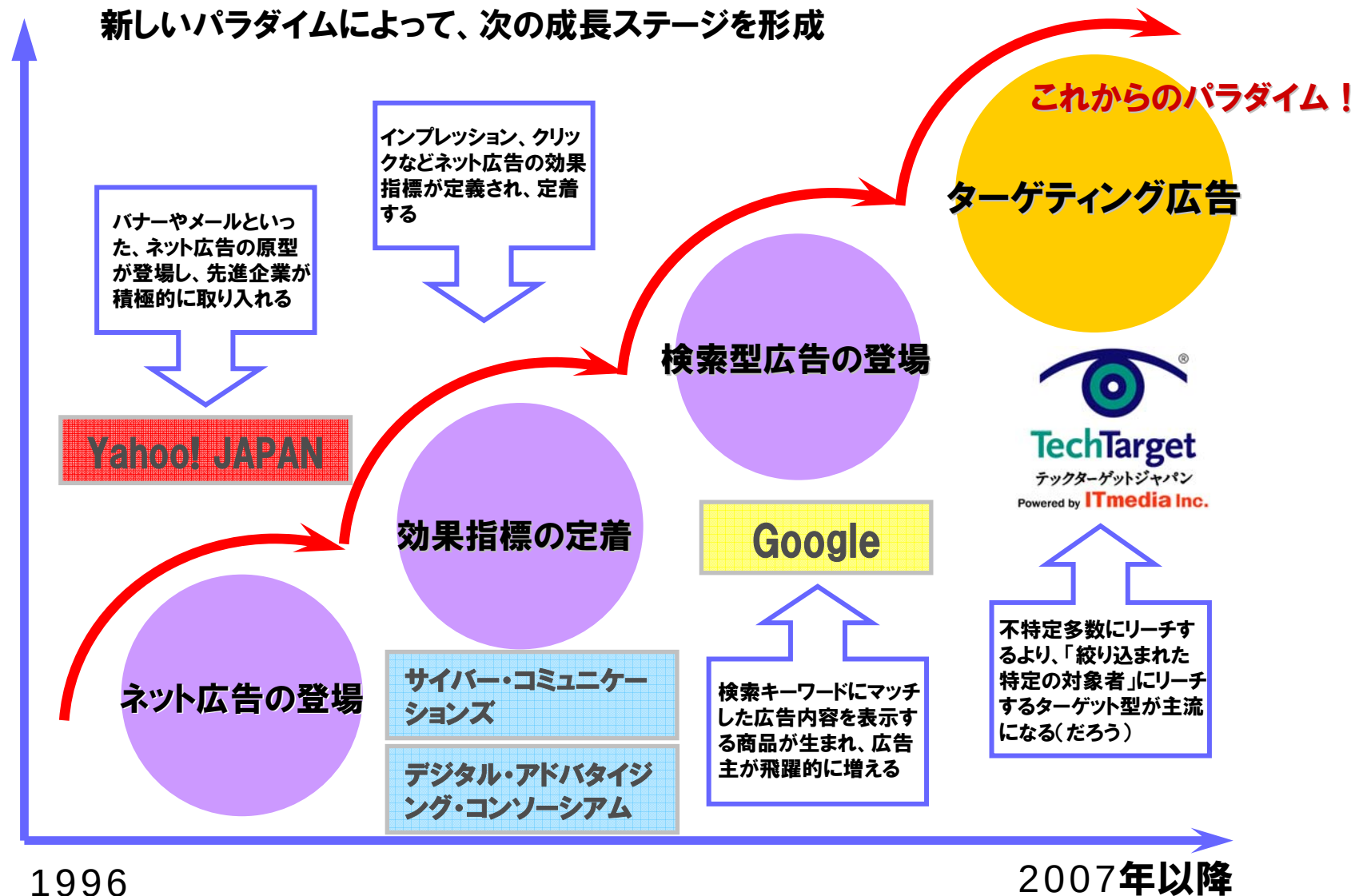
▼エンタープライズ・メディア事業

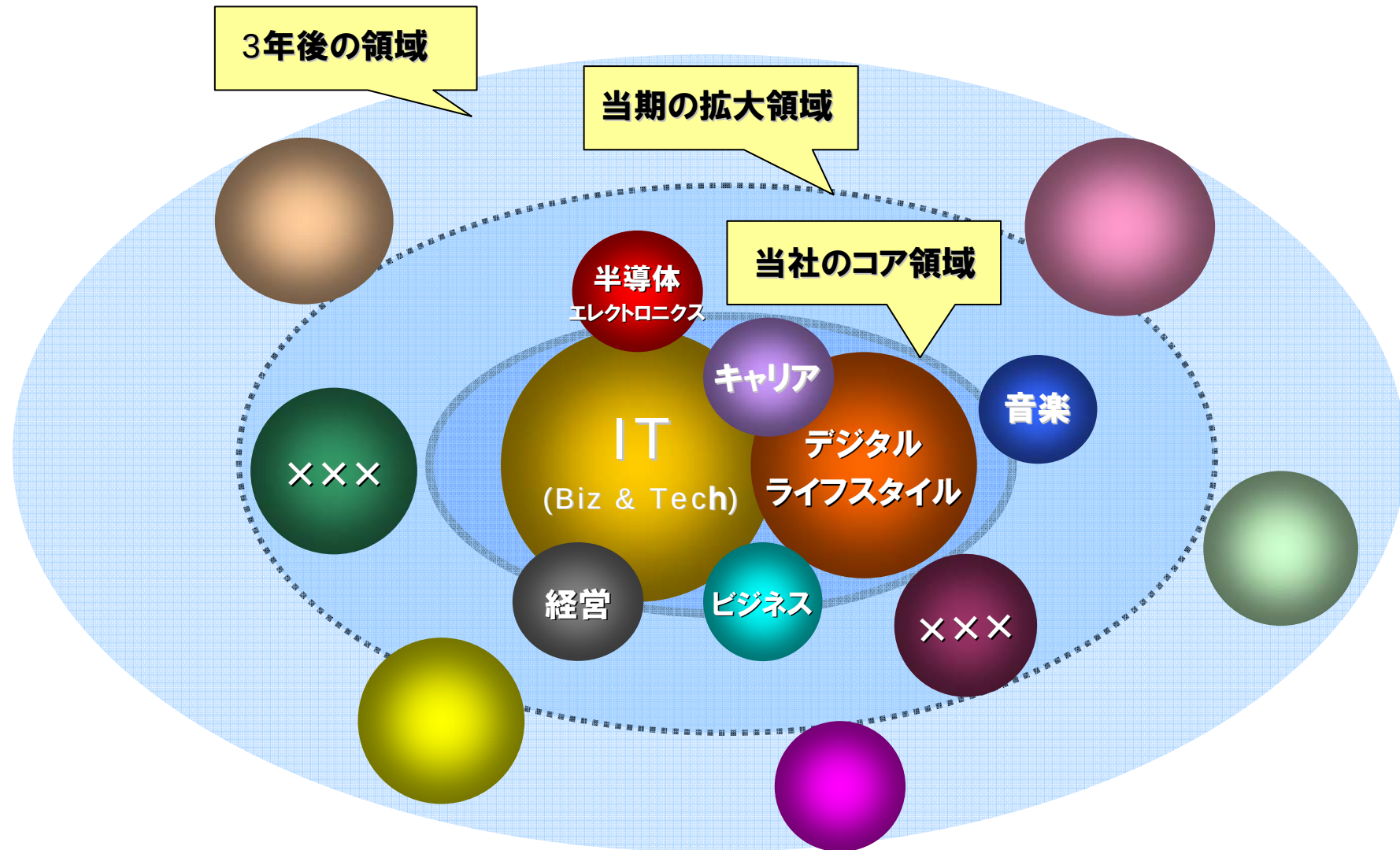


▼ライフスタイル・メディア事業



<http://www.itmedia.co.jp>





新規メディアの開発投資と回収サイクル



会社概要

設立年月日	1999年12月
資本金	16億20百万円（2008年6月30日現在）
代表者	代表取締役社長 大槻 利樹、代表取締役会長 藤村 厚夫
所在地	本社：東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル8F 営業：東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館5F
事業内容	情報技術関連分野をテーマとした、 インターネット専業メディアの開発と運営
従業員数	188名（2008年6月30日現在）
主要株主	ソフトバンク メディア マーケティング ホールディングス(株) ヤフー（株）他

ありがとうございました。

IR関連のお問い合わせ:

管理本部 IR担当

03-5293-2612

ir@sml.itmedia.co.jp